

「一般教員のカリキュラム・マネジメント力養成 - 横断的な学習デザイン力の開発を中心に -」

研究の概要

◆課題認識…現下、管理職やリーダー教員に照射した、組織や資源を経営学的視点から俯瞰するカリキュラム・マネジメント（以下、CM）研究の提言や研修は見受けられるが、次期教育課程において肝心な、一般教員に照射した、子どもの汎用的な資質・能力育成のための教科等横断的な学習設計力・評価力としての方略や手続き等、方法的視点からのCMに関する研究や研修機会は稀薄である。

◆研究の目的…本研究の目的は、変化の激しいこれからの時代に求められる汎用的な資質・能力の育成に向け、一般教員が教科等横断的な学習設計力・評価力としてのCM力を身に付けるための養成・研修プログラムを開発、敷衍することである。

◆研究の方法

- (1) 既に本学附属小・中学校等で実践されてきた、市民的資質等の資質・能力に関するCM方略を析出する。
- (2) CM方略について、在校生、卒業生への紙上アンケート、日常生活での成果やパフォーマンス課題についての聞き取り等の調査による長期的効果検証及び課題の明確化。
- (3) (2)の成果と課題をもとに、「横断・統合カリキュラム」や「パフォーマンス評価・学習としての評価論」を基盤としたCM方略事例の開発と実施準備。
- (4) CM方略事例の開発とその学部・大学院授業、現職研修プログラム試行版を完成。
- (5) (4)で完成したCM力養成授業プログラムを試行し、効果を検証して広く提案。
- (6) (4)で完成した現職研修用のCM力研修プログラムを試行し、効果を検証して広く提案。

研究のポイント・成果

◆研究のポイント

①令和元年度

- ・現職研修用のCM力研修プログラムにより、宗像市/福津市、鞍手郡小竹町にて述べ5回の小中学校教員を対象とした研修会を実施した。
- ・研究途上の成果について、教育方法学会、目標・評価学会、全国社会科教育学会、日本社会科教育学会、福岡社会科教育実践学会にて発表を行った。

②令和2年度

- ・現職研修用のCM力研修プログラム（右図）による一連の研修動画を作成し、宗像市/福津市他、近隣の小中学校、研究会等に配信している。
- ・研究成果について、日本教育大学協会研究集会、教育方法学会、目標・評価学会、全国社会科教育学会、日本社会科教育学会、福岡社会科教育実践学会にて発表を行った。

◆成果…学力向上と資質・能力育成が混同されがちであったが、レリバンス、学習アセスメント、PBL、教科等横断等の視点から、資質・能力育成に向けたCMについて、現職研修に寄与することができた。

【理論全体編】新教育課程では何が求められているか？

【理論編1】ガチ（真正）課題とは？

【理論編2】学習評価とは？

【理論編3】PBL（プロジェクト型学習）とは？

【理論編4】横断的学習をどう構想する？

【理論編5】横断的課題としてのSDGsとは？

【実践編・事例の見所】小・中学校実践のどこに注目するか？

【実践編・小学校事例】附属福岡小学校

【実践編・中学校事例】附属小倉学校

今後の課題

◆研修プログラムの更新と拡充

- ・新型コロナウイルス感染症による、対面形式の研修会開催が難しい状況が継続する中、アンケート結果や要望を踏まえたCM力研修プログラム動画の更新。
- ・宗像市/福津市他、近隣の小中学校、研究会等に留まらず、県内外の要望に広く応え拡充していくための広報。